



2016年9月16日

各 位

会 社 名 株式会社 東芝
東京都港区芝浦1-1-1
代表者名 代表執行役社長 綱川 智
(コード番号: 6502 東、名)
問合せ先 執行役常務 広報・IR部長
長谷川 直人
Tel 03-3457-2100

財務報告に係る内部統制の改善状況について

当社は、2016年6月22日付の内部統制報告書において、識別した財務報告に係る開示すべき重要な不備について、今後の四半期決算の状況を追加で確認することとしておりました。2017年3月期第1四半期決算において、全社的な内部統制と決算・財務報告プロセス等に係る内部統制のそれぞれの不備に関する改善策の運用状況について自己評価を行った結果、財務報告に係る内部統制の重要な不備は識別されませんでしたので、お知らせいたします。

<2016年3月期の不備の状況>

1. 全社的な内部統制

・ 予算統制制度の運用

2016年3月期においては実質的に予算が作成されないまま事業年度が終了したため、予算統制が行われる中でのコンプライアンス意識の発揮をはじめとする運用状況について、確認が行えない状況にありました。

・ 決算・財務報告に関与する従業員の適切な財務報告に関する意識

会計コンプライアンスについての実効性を高めるため、役職・業務内容に応じた階層別、職能別教育を実施し、2016年3月末時点では意識の改善は進んだものの、運用の定着を確認する十分な期間が確保できませんでした。

2. 決算・財務報告プロセスに係る内部統制

財務報告に係る多数の修正事項が発見されたため、決算・財務報告プロセスの内部統制の整備及び運用に開示すべき重要な不備が存在するものと判断しました。

<実施した自己評価の概要と結果>

1. 全社的な内部統制

・ 予算統制制度の運用

新たに制定した予算統制及び業績管理に関するガイドラインに基づき、月次予算実績差異分析及び分析結果に基づく議論等が実施され、その中で、過度な損益改善や予算達成要求が行われていないことについて、会議体出席者への質問や議事録の閲覧等により確認しました。

・ 決算・財務報告に関与する従業員の適切な財務報告に関する意識

決算体制の強化を継続するとともに、役職・業務内容に応じた階層別、職能別教育などの施策を継続実施していることを、証憑の閲覧や質問により確認しました。この結果により適切な財務報告に向けた活動は継続的に実施されている事により、意識の改善が図られていると確認しました。

2. 決算・財務報告プロセスに係る内部統制

2016年3月末時点における不備のうち、整備が不足していたものについては J-SOX 文書やマニュアルの整備を実施しました。決算体制の強化を継続した上で、その運用の定着は質問や証憑の閲覧により、適切に運用されていることを確認しました。

当社としては、2017年3月期第1四半期決算の自己評価の結果、財務報告に係る内部統制の重要な不備は発見されませんでした。引き続き会計処理問題に対する再発防止策の着実な運用を図り、2017年3月末において、開示すべき重要な不備を解消し財務報告に係る内部統制が有効になることを目指し、株主・投資家をはじめとするステークホルダーの皆様からの信頼回復に向けて全力を尽くして参りますので、引き続きご支援を賜りたくお願い申し上げます。

以 上